

福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.11

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ着実に進めてまいります。

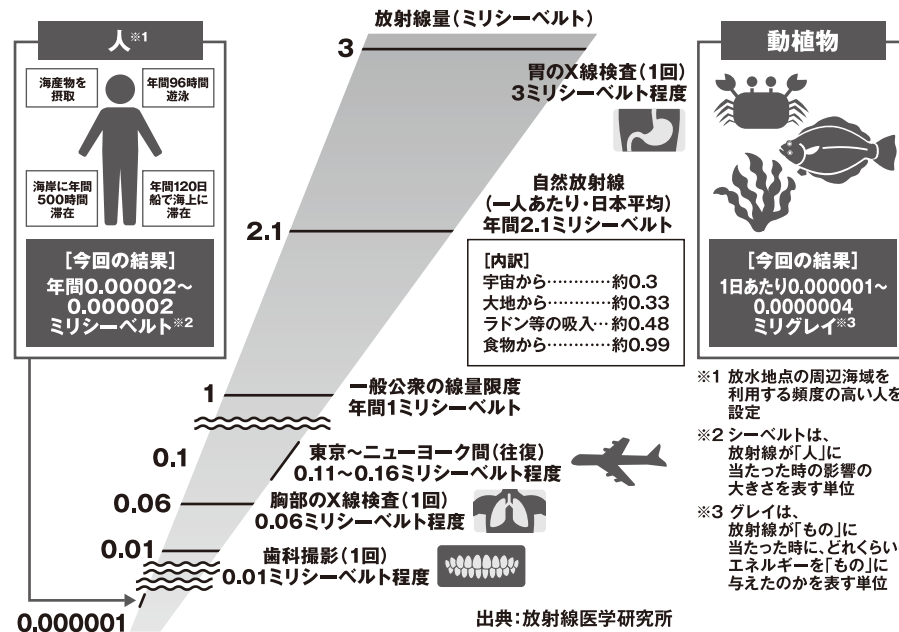
ALPS処理水放出に伴う人や環境への影響評価

人や環境への影響は極めて小さいと評価

当社は、ALPS処理水の海洋放出に関する政府の基本方針をふまえて、ALPS処理水を海洋放出した場合の人や環境への放射線影響評価を、国際原子力機関(IAEA)の安全基準文書など国際的に認知された手法に従って実施しています。

その結果、線量限度(年間1ミリシーベルト/人)や、国際放射線防護委員会(ICRP)が提唱する生物種ごとに定められた基準値を大幅に下回る結果となり、人や環境への影響は極めて小さいとの結果が得られました。

影響評価結果は、IAEAのレビュー(検証)を受け、原子力規制委員会の確認を得ております。そのうえで、IAEAの指摘等をふまえ、あらためて影響評価を実施し本年11月から原子力規制委員会に審査いただいています。



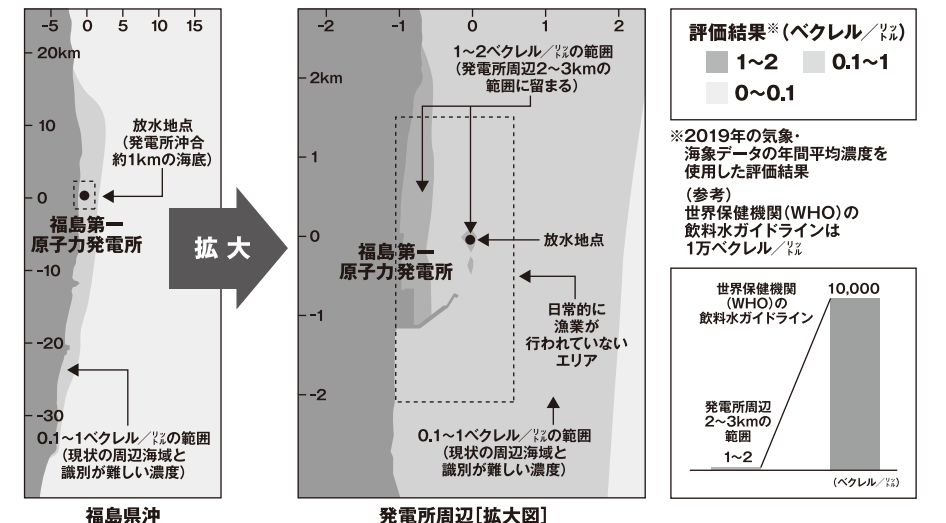
皆さまからの声におこたえします

Q 海洋放出した場合の海への影響について教えてください。

A ALPS処理水の放出に伴う海洋のトリチウム濃度についてシミュレーションをした結果、放出した水が拡散されることで、放水地点(海底トンネル出口)の近傍でトリチウム濃度が速やかに低下することを確認しました。

また、表層において、現状の周辺海域の海水に含まれるトリチウム濃度(約0.1~1ベクレル/ℓ)より濃度が高くなる範囲(1~2ベクレル/ℓ)は、年間平均で発電所周辺の2~3kmの範囲にとどまるとの結果となりました。

※ベクレルは放射性物質がどのくらい放射線を出す能力があるかを表す単位



ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください
 ▶[処理水ポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>

海洋放出に伴う放射線環境影響評価はこちらをご覧ください
 ▶[放射線環境影響評価結果(建設段階)]
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/images/ria_202112j.html

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
 ▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>



東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字沢尻北原22